

法人名 (公財)山梨県馬事振興センター

公益法人用

【法人の概要】

代表者名	山里 直志		所管部(局)課	農政部畜産課		
所在地	北杜市小淵沢町10060-3		電話番号	0551-36-3945		
ホームページURL	http://www.nns.ne.jp/ass/baji		E-mailアドレス	baji@nns.ne.jp		
資本金(基本財産)	1,000	千円	設立年月日	昭和57年6月17日		
主な出資者	出資順位	出資者名等		出資額		出資比率
	1	山梨県		400	千円	40.0 %
	2	北杜市		400	千円	40.0 %
	3	山梨県馬術連盟		200	千円	20.0 %
	4				千円	0.0 %
	5				千円	0.0 %
	6				千円	0.0 %
	7				千円	0.0 %
	8				千円	0.0 %
	出資その他	団体(者)			千円	0.0 %
その他				千円	0.0 %	
合計			1,000	千円	100.0 %	
設立経緯等	設立:本法人は、「かいじ国体」(昭和61年10月)で整備した馬術競技用施設を管理運営し、これを有効活用して事業を実施する法人として、県・小淵沢町・県馬術連盟の出捐により設立。目的:馬術競技の普及奨励と優良乗用馬の育成供給等を行い、もって畜産の振興に寄与する。経緯概況等:国体終了後も県の馬事振興を図る拠点とし、各種大会の開催、研修会開催等により馬術普及に貢献している。					

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H23年度	H24年度	H25年度
事業1 馬事技術普及奨励事業	各種大会・合宿の受け入れ、施設の利用を通して馬事普及を図った。県有競技馬を中心とした調教技術の向上に努め選手強化の実績を上げた。	57,864	77,477	56,109
事業2 優良乗用馬育成供給事業	優秀馬の繁殖事業に伴う生産育成による乗用馬と競争転用馬の再調教を施し広く乗馬関係者に供給した。	12,864	12,979	10,084
事業3 その他法人の目的を達成するために必要な事業	地域と連携しホーストレッキング大会やホースショー及び小中学生の体験乗馬等の開催を支援し、地域スポーツ文化及び馬事振興発展に協力した。	1,921	2,064	2,007

【組織】

4月1日現在の人員	年度	平成24年度					平成25年度					平成26年度							
		職 員	プロ パー	派遣 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	派遣 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他	職 員	プロ パー	派遣 兼務	県 職 員	県 O B	そ の 他
役員	理事(常勤)	1				1	1					1	0						
	理事(非常勤)	8		3		5	8		3		5	9		3					6
	監事(常勤)	0				0	0				0	0							
	監事(非常勤)	2				2	2				2	2							2
	評議員	5			1	4	5			1	4	5			1	4			4
計	16	0	3	1	12	16	0	3	1	12	16	0	3	1	12				
職員	管理職	2	1		1	1				1		1			1				1
	一般職員	3	3			4	4				3	3							
	臨時職員	4				4	4			4	1								1
	非常勤職員	0				0					1								1
計	9	4	0	1	4	9	4	0	1	4	6	3	0	1	2				
プロパー職員の年齢構成(H26. 4. 1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計											
	男性			1	1			1	3	役員									(千円)
	女性			1				1	1	常勤	※								※
合計	0	0	2	1	0	1	4	4	職員										(千円)

※ 常勤役員は1名のため個人情報保護の観点から、非公表。

平均年齢 49.5
平均年収 (千円) 4,004

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
正味財産の状況	基本財産運用益	0	0	0	0
	受取会費・受取寄付金				0
	受託事業収益	38,470	43,770	31,035	△ 12,735
	自主事業収益	35,675	36,726	32,167	△ 4,559
	受取補助金等	4,369	4,150	3,942	△ 208
	その他の収益	32,586	18,570	19,513	943
	経常収入 計	111,100	103,216	86,657	△ 16,559
	事業費	14,045	96,719	87,565	△ 9,154
	うち人件費		34,991	24,067	△ 10,924
	管理費	75,886	5,704	5,700	△ 4
	うち人件費	32,081	1,461	1,212	△ 249
	経常支出 計	89,931	102,423	93,265	△ 9,158
	当期経常増減額	21,169	793	△ 6,608	△ 7,401
	経常外収入				0
	経常外支出				0
	当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	21,169	793	△ 6,608	△ 7,401	
当期指定正味財産増減額	51,603	△ 18,548	△ 14,974	3,574	
正味財産期末残高	333,273	315,518	293,935	△ 21,583	

(単位:千円)

項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
財務状況	流動資産	136,984	79,169	53,946	△ 25,223
	固定資産	306,573	273,064	255,127	△ 17,937
	資産 計	443,557	352,233	309,073	△ 43,160
	流動負債	86,911	26,467	4,890	△ 21,577
	うち短期借入金				0
	固定負債	23,373	10,248	10,248	0
	うち長期借入金				0
	負債 計	110,284	36,715	15,138	△ 21,577
	正味財産	333,273	315,518	293,935	△ 21,583
	うち基本財産への充当額	1,000	1,000	1,000	0
うち特定資産への充当額				0	

(単位:千円)

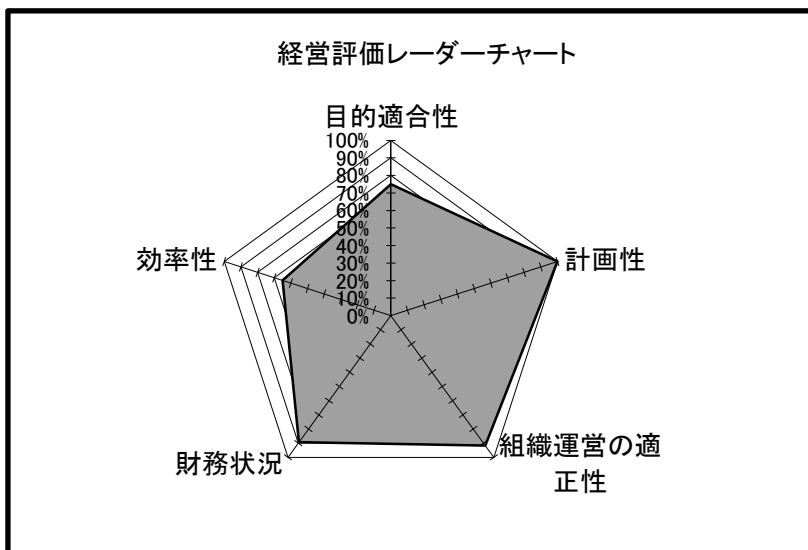
項 目		23年度	24年度	25年度	増減(25-24)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金				0
	人件費(派遣法以外)補助金	4,369	4,150	3,942	△ 208
	人件費以外の補助金	84,158		4,523	4,523
	運営費補助金	88,527	4,150	8,465	4,315
	事業費補助金				0
	補助金 計	88,527	4,150	8,465	4,315
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金	14,405	18,447	11,742	△ 6,705
	人件費以外の委託金	5,926	8,270	9,122	852
	委託金 計	20,331	26,717	20,864	△ 5,853
	県支出金 計	108,858	30,867	29,329	△ 1,538
	県の財政的関与の割合(%)	98.0	29.9	33.8	4
	県貸付金残高				0
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的・金額】

項目	内容・目的・金額
負担金	
補助金(運営費)	山梨県馬術競技場の管理運営を行うために要する経費。(3,942千円)
補助金(事業費)	山梨県馬術競技場の施設整備を行うために要する経費。(4,523千円)
委託金	県有競技用馬の能力を効果的に発揮させるための飼育管理業務及び緊急雇用対策による環境整備事業に係る委託経費。(20,864千円)
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	3	12	9	75.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	3	12	12	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	3	12	11	91.7%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	7	56	50	89.3%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	5	20	13	65.0%
合計		21	112	95	84.8%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	当初の設立目的に適合した業務を実地し、地域の活性化に成果をあげているが、本年度は目標達成率が100%を下回っており、次年度はPR等に力を入れていく。
計画性	経営計画及び事業運営合理化計画に基づいた管理運営を今後も行っていく。
組織運営の適正性	組織の人員構成、業務チェック機能は概ね良好であるが、次年度以降は更なる情報公開に努めていく。
財務状況	借入を行わず、安全な資金運用を図りながら健全な経営を引き続き行っているが、使用料収入等の収益が減少しているため、PRの強化等により収益の増加を図っていく。
効率性	施設の有効利用を図り、必要最小限の人員で事業収入を確保し、人件費及び管理費の削減に今後も努めていく。
総合的評価	目的にあった計画的な運営に努力しており、効率性の向上に向けて管理費の削減等努力しているが、依然県からの財政支援に頼らざるを得ない現状である。そのため、今後も、経費削減と収入の増加を図っていく。



対応策	各種大会の参加馬・参加者の増員を図る等事業収益の確保に努めながら、より一層管理費の削減など組織運営の効率化に努力して法人の自立性を高めていく。
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	当初の設立目的に適合した業務を実施し、地域の活性化に成果をあげているが、集客力の向上等さらなる努力をする必要がある。
計画性	経営計画並びに事業運営合理化計画に基づいた管理運営を引き続き行っていく必要がある。
組織運営の適正性	組織の人員構成、業務チェック機能は概ね良好であるが、情報公開の強化について検討を行う必要がある。
財務状況	借入金はなく、安全な資金運用など、全体的に見ると健全な経営となっているが、収入が減少し、当期一般正味財産増減額も赤字となっており、今後も引き続き使用料収入等収益増加を図るための経営努力が必要となっている。
効率性	今後も、施設の有効利用を図り、必要最小限の人数で事業収入を確保し、効率性を高めていく必要がある。
総合的評価	目的に合った計画的な運営に対し努力し、人件費の削減等を行っているが、更なる経費の縮減と収入の増加を図る必要がある。また、設立当時の施設の老朽化も収入の悪化の一因ともなっており、計画的な改修等についても検討する必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営検討委員会による総合評価)

総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>A</p> <p>得点率 80%以上 かつ 警戒指標なし</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>B</p> <p>得点率 70%~80% または 警戒指標が1</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>C</p> <p>得点率 60%~70% または 警戒指標が2</p> </div> <div style="border: 2px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; width: 20%;"> <p>D</p> <p>得点率 60%未満 または 警戒指標が3以上</p> </div> </div>
※ランク下の%は得点率の範囲	<ul style="list-style-type: none"> ・当センターは、かいじ国体で整備した馬術競技用施設を活用した事業を実施するため、県・町・県馬術連盟の出資により設立された。 ・借入金がなく、施設の管理運営に対する県の補助金についても、経費削減に努め順次これを減らしている。 ・平成25年度は使用料収入の減少などから赤字決算となったが、大会の開催誘致や参加馬の増加を図ること等で収益増加に努めるとともに、経費縮減にも引き続き取り組むことが求められる。 ・施設の老朽化が収入減の要因ともなっているため、計画的な改修等についても検討する必要がある。



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営に対する県の補助金については削減を実施し、経費削減に努めていく。 ・平成25年度は、使用料収入の減少などから赤字決算となっており、施設及び備品整備、地域と連携したイベントの開催、大会等の誘致により、収益の増加に努めるとともに経費の縮減にも引き続き取り組んでいく。 ・また、老朽化や新たな国際基準への対応のための施設の計画的な改修等については、継続して検討を実施していく。
